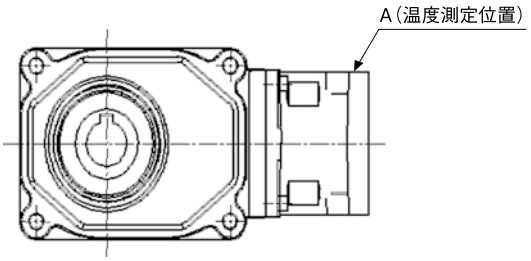
2-2 減速機の設置

a) 据え付け環境

①周囲温度　0℃～40℃（保存－10℃～＋60℃）
②周囲湿度　85%以下
③高　　度　1000m以下
④雰 囲 気　じんあいを含まない、換気の良い場所であること。
危険場所（ガスまたは蒸気の爆発性雰囲気が存在するおそれのある場所）の場合、それに適合した防爆性モータを使用してください。
⑤設置場所　屋内

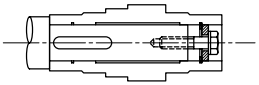
表面温度（A部）は90℃を超えないように注意してください。
90℃以上になる場合は、外部ファンやヒートシンクによる冷却を行って、90℃以下になるようにしてください。



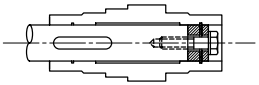
b) 据え付け方法

①振動のない機械加工された平面に４本のボルトでしっかりと締めてください。
基礎が悪かったり、取り付け面の平面度が出ていないと運転中振動を生じたり、減速機の寿命を縮めることがあります。
取り付け面の平面度は0.1mm以下になるようにしてください。
②中空軸の被動軸の固定と取り付け、取り外し方法

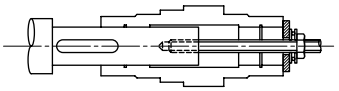
●固定方法
（イ）被動軸に段差がある場合



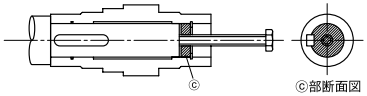
（ロ）被動軸に段差がない場合



●被動軸の取り付け、取り外し
被動軸の取り付け、取り外し時下図のようにいますとスムーズに行えます。
（イ）取り付け時



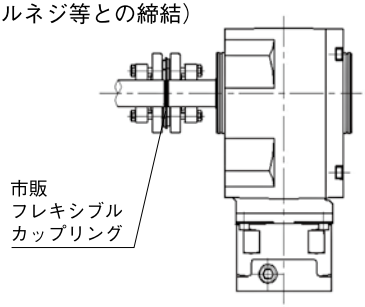
（ロ）取り外し時



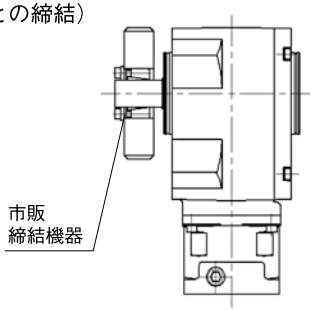
注）取り付け時、被動軸及び中空軸内径に焼付防止剤（二硫化モリブデン等）を塗布し挿入してください。
（被動軸公差はh７程度を推奨します）

③中実軸の締結

●対軸物
（ボールネジ等との締結）



●対穴物
（プーリ等との締結）



c) 据え付け方向

全機種グリース潤滑方式を採用しておりますので取り付け方向に制限はありません。

d) 相手機械との連結

本機と相手側機械との連結には次の項目に注意してください。

●減速機軸（中実）に取り付けるカップリング，スプロケット・プーリ・ギア等のはめ合いはH7程度を推奨します。

(1) 直結の場合

本機と相手機械の軸芯が一直線になる様に据え付けてください。

(2) チェーン・ベルト・ギア掛け等の場合

●いずれの連結方法も本機の軸と相手機械の軸が正しく平行になるようにし、かつスプロケットやプーリの中心線が軸と直角となる様に据え付けてください。

●出力軸の先端の方に荷重が作用しますと出力軸に無理な力が加わり、ケースの割れなどの原因になりますのでスプロケット･プーリ･ギア等は軸の根元一杯まで入れ、荷重作用点ができるだけ減速機に近くなるようにしてください。

●ベルト掛けで運転される場合、スリップ防止のため必要以上に張りすぎて軸受に無理を与えないように注意してください。

●チエーン掛けで運転される場合、チェーンがゆるんだ状態で使用しますと、始動時に大きな衝撃力が発生し減速機、および相手機械に悪影響を与えますのでチェーンの張りは充分気をつけてください。

3 剛性

入力軸を固定した上、出力軸に微小なトルク（定格トルクの±５%）を加えて、トルクを開放した時の出力軸のゼロ点への戻り誤差を角度単位に換算したものをバックラッシ値と規定しています。